

マイセレクション25 / 50 / 75

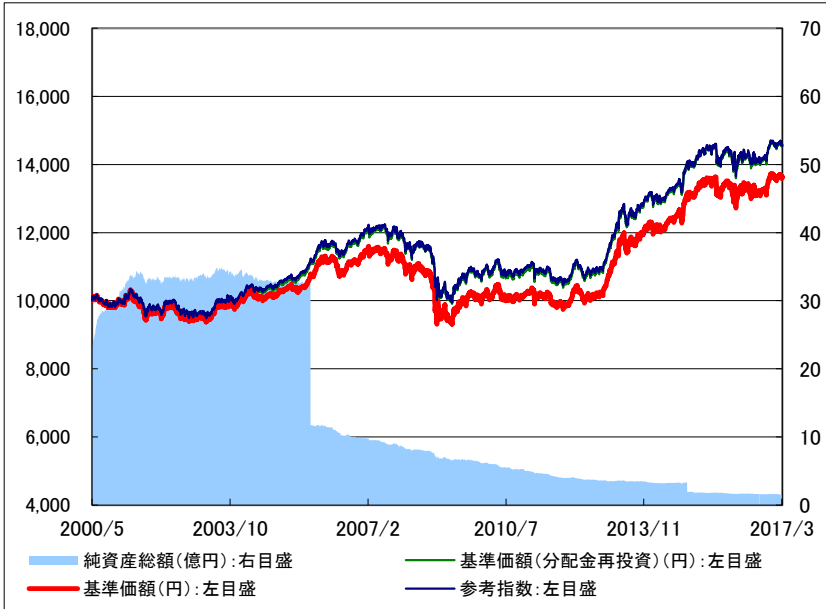
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

マイセレクション25

基準価額の推移



基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	13,612 円	- 27 円
純資産総額	1.39 億円	- 0.18 億円

期間別騰落率

	ファンド	参考指数	差
1ヵ月	-0.20%	-0.38%	0.18%
3ヵ月	-0.41%	-0.53%	0.12%
6ヵ月	3.25%	2.89%	0.36%
1年	2.24%	1.92%	0.32%
3年	11.99%	11.64%	0.36%
設定来	45.51%	45.49%	0.02%

- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ 参考指数は、各マザーファンドのベンチマークを当初設定日の基本組入比率に基づいて三井住友トラスト・アセットマネジメントが合成し、当初設定日を10,000として指数化したものです。各マザーファンドのベンチマークについては、11ページをご覧ください。

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 715 円

決算期	2014年5月	2015年5月	2016年5月
分配金	0 円	20 円	0 円

※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

マイセレクション25

マザーファンドの状況

マザーファンド	資産構成比	基本組入比率	差	基準価額騰落貢献額
国内株式インデックス マザーファンド	20.29%	20.00%	0.29%	- 17 円
国内債券インデックス マザーファンド	59.63%	60.00%	-0.37%	- 11 円
外国株式インデックス マザーファンド	5.31%	5.00%	0.31%	7 円
外国債券インデックス マザーファンド	9.80%	10.00%	-0.20%	- 0 円
その他	4.98%	5.00%	-0.02%	- 7 円
合計	100.00%	100.00%	-	- 27 円

※ 対純資産総額比です。

マザーファンドの基準価額の推移



※ 当ファンドの当初設定日を10,000として指数化し、当初設定日から作成基準日までを表示しています。

組入上位10カ国

	国	比率
1	日本	84.89%
2	米国	7.85%
3	フランス	1.17%
4	英国	1.10%
5	イタリア	0.95%
6	ドイツ	0.90%
7	スペイン	0.61%
8	カナダ	0.42%
9	オーストラリア	0.37%
10	オランダ	0.30%

※ 対純資産総額比です。

組入上位10通貨

	通貨	比率
1	日本円	84.89%
2	米国ドル	7.86%
3	ユーロ	4.52%
4	英国ポンド	1.10%
5	カナダ・ドル	0.42%
6	オーストラリア・ドル	0.37%
7	スイス・フラン	0.21%
8	スウェーデン・クローナ	0.11%
9	デンマーク・クローネ	0.09%
10	メキシコ・ペソ	0.09%

※ 対純資産総額比です。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

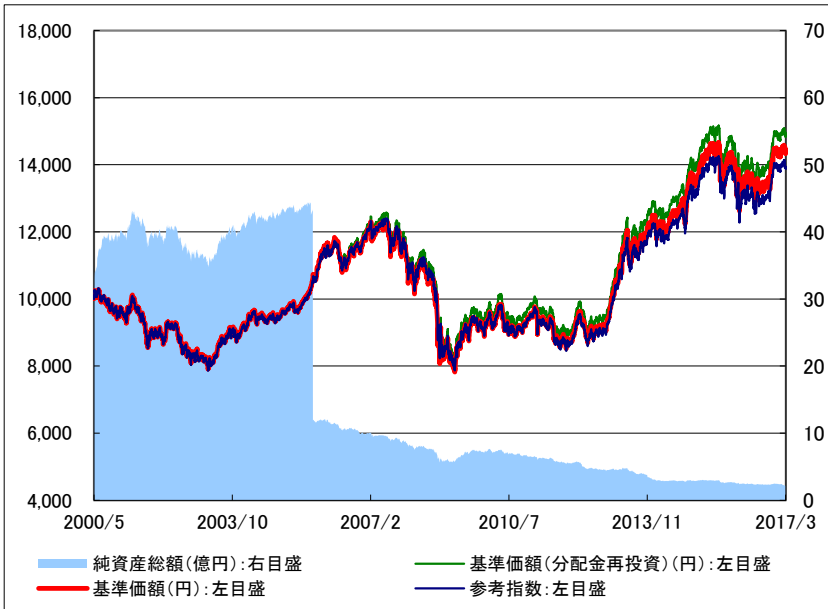
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

マイセレクション50

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ 参考指数は、各マザーファンドのベンチマークを当初設定日の基本組入比率に基づいて三井住友トラスト・アセットマネジメントが合成し、当初設定日を10,000として指数化したものです。各マザーファンドのベンチマークについては、11ページをご覧ください。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	14,388 円	- 22 円
純資産総額	2.14 億円	- 0.22 億円

期間別騰落率

	ファンド	参考指数	差
1ヵ月	-0.15%	-0.52%	0.37%
3ヵ月	0.16%	-0.20%	0.36%
6ヵ月	7.67%	7.08%	0.59%
1年	6.04%	5.43%	0.61%
3年	18.05%	16.23%	1.81%
設定来	48.81%	38.77%	10.04%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 390 円

決算期	2014年5月	2015年5月	2016年5月
分配金	0 円	20 円	0 円

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

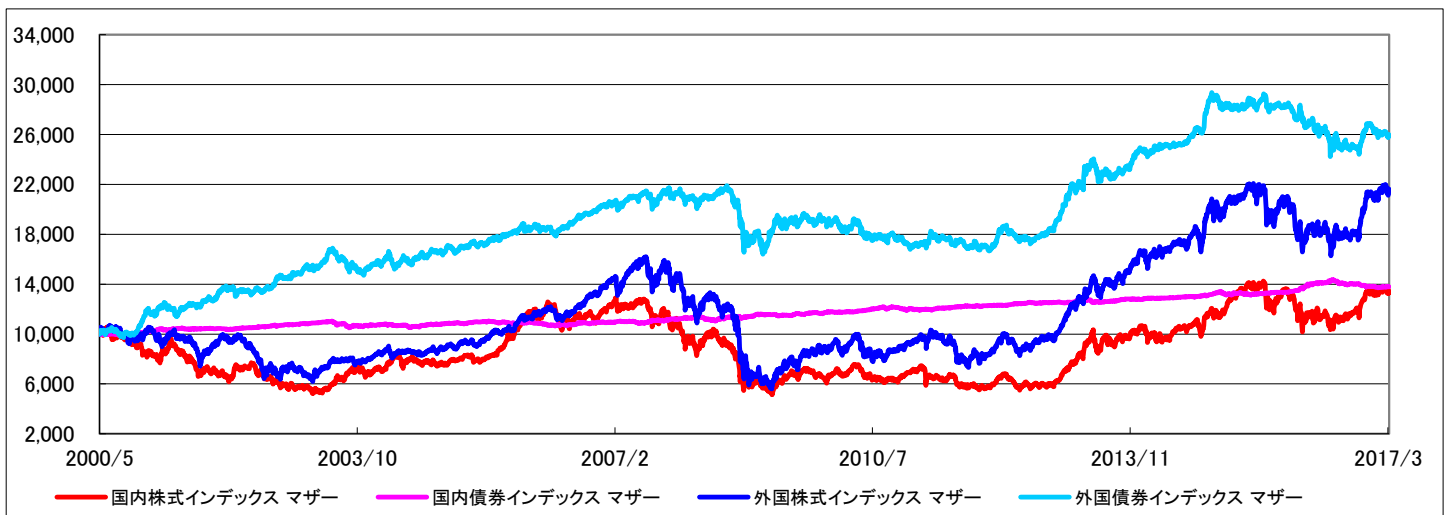
マイセレクション50

マザーファンドの状況

マザーファンド	資産構成比	基本組入比率	差	基準価額騰落貢献額
国内株式インデックス マザーファンド	35.08%	35.00%	0.08%	- 31 円
国内債券インデックス マザーファンド	39.69%	40.00%	-0.31%	- 7 円
外国株式インデックス マザーファンド	15.78%	15.00%	0.78%	22 円
外国債券インデックス マザーファンド	4.79%	5.00%	-0.21%	- 0 円
その他	4.66%	5.00%	-0.34%	- 6 円
合計	100.00%	100.00%	-	- 22 円

※ 対純資産総額比です。

マザーファンドの基準価額の推移



※ 当ファンドの当初設定日を10,000として指数化し、当初設定日から作成基準日までを表示しています。

組入上位10カ国

	国	比率
1	日本	79.43%
2	米国	12.50%
3	英国	1.49%
4	フランス	1.09%
5	ドイツ	0.94%
6	カナダ	0.72%
7	オーストラリア	0.59%
8	イタリア	0.58%
9	スイス	0.56%
10	スペイン	0.47%

※ 対純資産総額比です。

組入上位10通貨

	通貨	比率
1	日本円	79.43%
2	米国ドル	12.52%
3	ユーロ	3.85%
4	英国ポンド	1.49%
5	カナダ・ドル	0.72%
6	オーストラリア・ドル	0.59%
7	スイス・フラン	0.56%
8	スウェーデン・クローナ	0.20%
9	香港ドル	0.20%
10	デンマーク・クローネ	0.13%

※ 対純資産総額比です。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

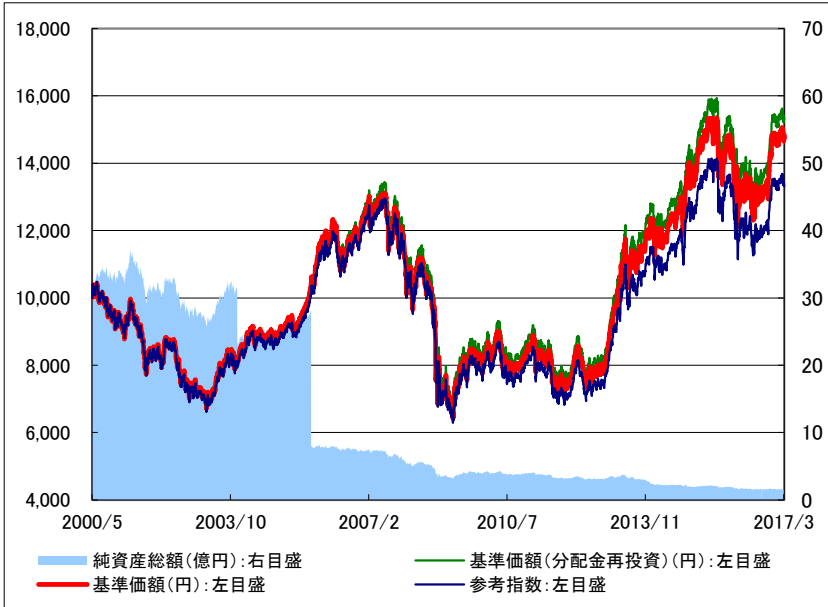
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

マイセレクション75

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ 参考指数は、各マザーファンドのベンチマークを当初設定日の基本組入比率に基づいて三井住友トラスト・アセットマネジメントが合成し、当初設定日を10,000として指数化したものです。各マザーファンドのベンチマークについては、11ページをご覧ください。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	14,751 円	- 20 円
純資産総額	1.48 億円	- 0.10 億円

期間別騰落率

	ファンド	参考指数	差
1ヵ月	-0.14%	-0.69%	0.55%
3ヵ月	0.55%	-0.03%	0.57%
6ヵ月	12.82%	11.61%	1.20%
1年	10.21%	8.63%	1.58%
3年	24.02%	20.32%	3.70%
設定来	53.05%	33.16%	19.89%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 440 円

決算期	2014年5月	2015年5月	2016年5月
分配金	0 円	20 円	0 円

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

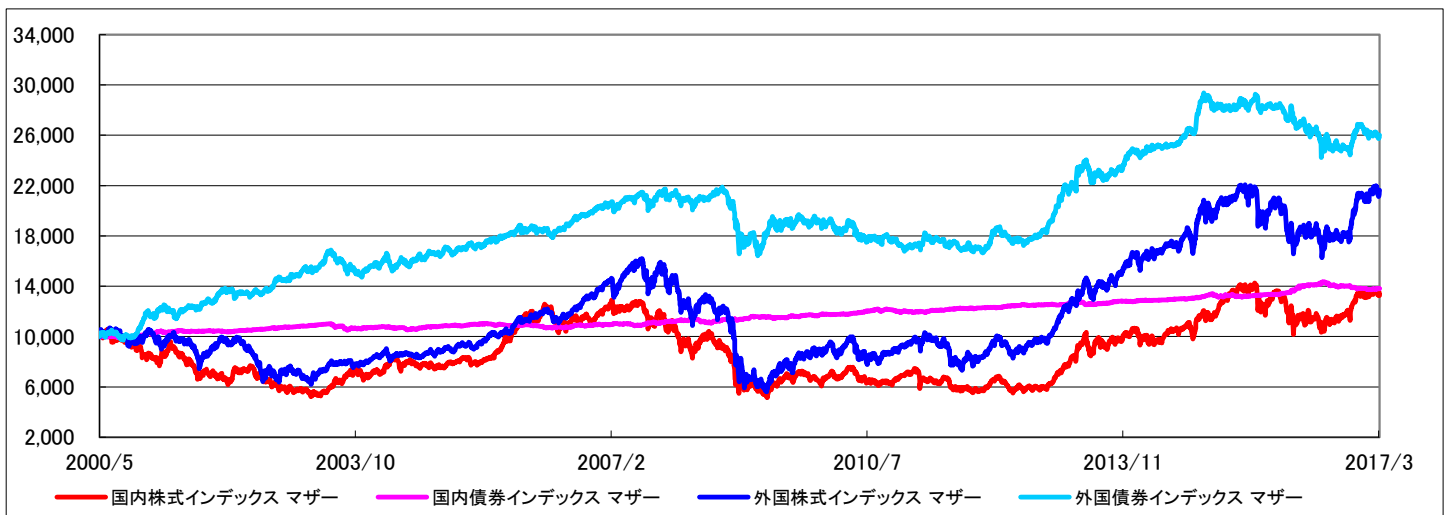
マイセレクション75

マザーファンドの状況

マザーファンド	資産構成比	基本組入比率	差	基準価額騰落貢献額
国内株式インデックス マザーファンド	49.57%	50.00%	-0.43%	- 44 円
国内債券インデックス マザーファンド	16.71%	17.00%	-0.29%	- 3 円
外国株式インデックス マザーファンド	26.00%	25.00%	1.00%	37 円
外国債券インデックス マザーファンド	4.86%	5.00%	-0.14%	- 0 円
その他	2.86%	3.00%	-0.14%	- 10 円
合計	100.00%	100.00%	-	- 20 円

※ 対純資産総額比です。

マザーファンドの基準価額の推移



※ 当ファンドの当初設定日を10,000として指数化し、当初設定日から作成基準日までを表示しています。

組入上位10カ国

	国	比率
1	日本	69.14%
2	米国	19.25%
3	英国	2.23%
4	フランス	1.49%
5	ドイツ	1.34%
6	カナダ	1.13%
7	スイス	0.92%
8	オーストラリア	0.90%
9	イタリア	0.68%
10	スペイン	0.61%

※ 対純資産総額比です。

組入上位10通貨

	通貨	比率
1	日本円	69.14%
2	米国ドル	19.28%
3	ユーロ	5.15%
4	英国ポンド	2.23%
5	カナダ・ドル	1.13%
6	スイス・フラン	0.92%
7	オーストラリア・ドル	0.90%
8	香港ドル	0.34%
9	スウェーデン・クローナ	0.32%
10	デンマーク・クローネ	0.20%

※ 対純資産総額比です。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

国内株式インデックス マザーファンドの資産の状況

資産内容

株式	97.40%
株式先物取引	2.59%
短期金融資産等	0.01%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	12.98%	12.97%
2	輸送用機器	9.10%	9.13%
3	銀行業	8.14%	8.13%
4	情報・通信業	7.78%	7.77%
5	化学	6.86%	6.86%
6	機械	5.19%	5.20%
7	医薬品	4.76%	4.75%
8	小売業	4.65%	4.65%
9	食料品	4.54%	4.54%
10	卸売業	4.48%	4.48%

※ 対現物株式構成比です。

組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.25%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.31%
3	日本電信電話	情報・通信業	1.66%
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.54%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.41%
6	本田技研工業	輸送用機器	1.33%
7	KDDI	情報・通信業	1.26%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.21%
9	ソニー	電気機器	1.18%
10	ファナック	電気機器	1.02%

※ 対純資産総額比です。

組入銘柄数 : 1,958

市場動向

国内株式市場は、小幅に下落しました。月前半は、トランプ大統領の議会演説が波乱なく終了したことに加えて、FRB(米連邦準備理事会)による追加利上げ観測を背景に一時115円台まで円安・米ドル高が進行したことも好感されて、国内株式市場は堅調に推移し、主要な株価指数は年初来高値を更新しました。しかし月後半は、FOMC(米連邦公開市場委員会)後に米国の利上げペースが加速するとの見方が後退したことを受けて米長期金利が低下し、為替が円高・米ドル安に転じたことが重石となりました。また米議会でオバマケア(医療保険制度改革法)代替法案の採決が断念されたことで、トランプ大統領が掲げる政策の実現性に対する懸念が高まり、米国株式市場が下落するとともに、国内株式市場も軟調に推移しました。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

国内債券インデックス マザーファンドの資産の状況

※ 債券評価額には経過利子を含めています。

資産内容

債券	99.81%
債券先物取引	0.05%
短期金融資産等	0.14%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

特性値

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	9.33年	9.28年
修正デュレーション	8.79年	8.74年
最終利回り	0.13%	0.13%
銘柄数	706	-

※ 修正デュレーションとは債券価格の金利変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※ 利回り(税引前)は純資産総額に対する値、その他は組入債券に対する値です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

種類別構成比

種類	ファンド	ベンチマーク
国債	82.66%	82.46%
地方債	6.43%	6.55%
政府保証債	2.93%	3.00%
金融債	0.73%	0.74%
事業債	5.33%	5.35%
円建外債	0.56%	0.58%
MBS	1.30%	1.24%
ABS	0.07%	0.08%

※ 対現物債券構成比です。

残存期間別構成比

残存年数	ファンド	ベンチマーク
1年未満	0.03%	0.00%
1年以上3年未満	20.88%	21.20%
3年以上7年未満	28.86%	28.00%
7年以上10年未満	16.31%	15.54%
10年以上	33.92%	35.25%

※ 対現物債券構成比です。

市場動向

国内債券市場では、10年国債利回りが0.065%に上昇(価格は下落)しました。月前半は、FRB(米連邦準備理事会)による利上げが確実視されるなか、米長期金利が上昇したことを受けて、10年国債利回りは上昇しました。また、5年国債入札が低調な結果となったことが相場の重荷となり、10年国債利回りは一時0.090%まで上昇しました。月後半は、FOMC(米連邦公開市場委員会)で先行きの利上げペースが加速するとの見方が後退したことを受けて米長期金利が低下(価格は上昇)し、10年国債利回りは低下に転じました。加えて、米トランプ政権の政策の実現性を疑問視する見方から投資家のリスク回避姿勢が強まったことが低下要因となる一方、日銀の国債買い入れ額の減額に対する警戒感が上昇要因となり、10年国債利回りは月末にかけて低位でもみ合う展開となりました。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

外国株式インデックス マザーファンドの資産の状況

※ 株式には投資信託等を含みます。

資産内容

株式	97.76%
株式先物取引	2.22%
短期金融資産等	0.03%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

組入上位10カ国

	国	ファンド	ベンチマーク
1	米国	65.71%	65.38%
2	英国	7.20%	7.15%
3	カナダ	3.94%	3.94%
4	フランス	3.92%	4.08%
5	ドイツ	3.80%	3.80%
6	スイス	3.50%	3.49%
7	オーストラリア	3.08%	3.05%
8	オランダ	1.38%	1.38%
9	スペイン	1.31%	1.35%
10	香港	1.30%	1.40%

※ 対現物株式構成比です。

組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	銀行	9.64%	9.62%
2	ソフトウェア・サービス	9.28%	9.30%
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.72%	8.71%
4	資本財	7.48%	7.46%
5	エネルギー	7.09%	7.09%
6	食品・飲料・タバコ	5.93%	5.92%
7	素材	4.96%	4.93%
8	各種金融	4.36%	4.34%
9	保険	4.19%	4.15%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.99%	4.01%

※ 対現物株式構成比です。

※ 業種はGICS分類(産業グループ)によるものです。GICSに関する知的所有権等はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

組入上位10銘柄

	銘柄	国	比率
1	APPLE INC	米国	2.30%
2	MICROSOFT CORP	米国	1.46%
3	AMAZON.COM	米国	1.06%
4	EXXON MOBIL	米国	1.04%
5	JOHNSON & JOHNSON	米国	1.02%
6	FACEBOOK INC-A	米国	1.00%
7	JPMORGAN CHASE & CO	米国	0.95%
8	WELLS FARGO & CO	米国	0.80%
9	GENERAL ELECTRIC CO	米国	0.79%
10	ALPHABET INC-CL C	米国	0.77%

※ 対純資産総額比です。

組入銘柄数 : 1,325

市場動向

米国株式市場は、月前半はトランプ大統領の議会演説を受けて景気浮揚策への期待が高まったことやマクロ景気指標の改善を背景に、中旬にかけて堅調に推移しました。月後半は、FOMC(米連邦公開市場委員会)で示された将来の利上げ見通しに変更がなかったことが好感されたものの、オバマケア(医療保険制度改革法)の代替法案が採決前に撤回されたことを受けてトランプ政権が掲げる政策の実現性に対する懸念が高まったことから軟調となり、米国株式市場は前月末とほぼ同水準で終了しました。

欧州株式市場は、域内外の景況感の改善を背景に総じて堅調となり、オランダ下院選挙の結果やフランス大統領選挙の世論調査を受けて域内における政治リスクへの懸念が後退したことなどから上昇しました。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

外国債券インデックス マザーファンドの資産の状況

※ 債券評価額には経過利子を含めています。

資産内容

債券	98.84%
債券先物取引	0.76%
短期金融資産等	0.40%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

特性値

	ファンド	ベンチマーク
直接利回り	2.45%	-
最終利回り	1.40%	1.42%
残存年数	8.30年	8.39年
修正デュレーション	6.91年	6.98年
銘柄数	657	-

※ 利回り(税引前)は純資産総額に対する値、その他は組入債券に対する値です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位10カ国

	国	ファンド	ベンチマーク
1	米国	44.54%	44.51%
2	フランス	9.80%	9.84%
3	イタリア	9.26%	9.33%
4	英国	7.32%	7.17%
5	ドイツ	7.16%	7.17%
6	スペイン	5.49%	5.56%
7	ベルギー	2.54%	2.48%
8	オランダ	2.27%	2.28%
9	カナダ	2.14%	2.11%
10	オーストラリア	2.13%	2.19%

※ 対現物債券構成比です。

組入上位10通貨

	通貨	ファンド	ベンチマーク
1	米国ドル	44.54%	44.51%
2	ユーロ	39.38%	39.53%
3	英国ポンド	7.32%	7.17%
4	カナダ・ドル	2.14%	2.11%
5	オーストラリア・ドル	2.13%	2.19%
6	メキシコ・ペソ	0.91%	0.92%
7	ポーランド・ズロチ	0.67%	0.67%
8	デンマーク・クローネ	0.60%	0.59%
9	南アフリカ・ランド	0.57%	0.55%
10	スウェーデン・クローナ	0.45%	0.45%

※ 対現物債券構成比です。

市場動向

米国10年国債利回りは、2.3%台後半となり、ほぼ横ばいとなりました。

月前半は、FRB(米連邦準備理事会)高官発言などを受けて、3月の利上げが確実視されるなか、一時2.6%台に上昇(価格は下落)しました。月後半は、FOMC(米連邦公開市場委員会)で先行きの利上げペースが加速するとの見方が後退したことや、米トランプ政権の政策の実現性への懸念の高まりから投資家によるリスク回避の動きが強まったことを受けて、2.3%台に低下(価格は上昇)しました。

ドイツ10年国債利回りは、0.3%台前半に上昇しました。

月前半は、ECB(欧州中央銀行)が量的金融緩和終了前の利上げを協議したとの報道を受けて、一時0.4%台後半に上昇しました。月後半は、オランダ総選挙結果などを受けて欧州の政治リスクが和らいだものの、米長期金利の低下やドイツの消費者物価の伸び鈍化などを受けて、利回りは低下しました。

米ドル/円相場は、円高・米ドル安の動きから112円台前半となりました。月前半は、利上げ観測を背景とした米長期金利の上昇を受けて、一時115円台前半まで円安・米ドル高が進行しました。月後半は、FOMCで先行きの利上げペースが加速するとの見方が後退したことや、米トランプ政権の政策実現性に対する疑念から投資家のリスク回避の動きが強まり、一時110円台前半まで円高・米ドル安が進みました。

ユーロ/円相場は、円安・ユーロ高の動きから119円台後半となりました。月前半は、ECBが量的金融緩和終了前の利上げを協議したとの報道を受けてユーロが買われ、円安・ユーロ高の展開となりました。月後半は、欧州の政治リスクがやや和らいだものの、米トランプ政権の政策の実現性への懸念からリスク回避目的の円買い圧力が強まり、円高・ユーロ安の推移となりました。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

マザーファンドのベンチマーク

※ 各マザーファンドのベンチマークは、以下の通りです。

マザーファンド	ベンチマーク
国内株式インデックス マザーファンド	<p>【TOPIX(東証株価指数)】</p> <p>TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)が算出、公表する指数で、東京証券取引所市場第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とした時価総額加重型の株価指数です。</p> <p>同指数は、東証の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関する全ての権利は、東証が有しています。なお、東証は、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。</p>
国内債券インデックス マザーファンド	<p>【NOMURA-BPI総合】</p> <p>NOMURA-BPI総合とは、野村證券株式会社が公表する、日本の公募債券流通市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。</p> <p>同指数の知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。</p>
外国株式インデックス マザーファンド	<p>【MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)】</p> <p>MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)とは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。</p> <p>同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。</p>
外国債券インデックス マザーファンド	<p>【シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)】</p> <p>シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)とは、Citigroup Index LLCが開発した、世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。</p> <p>同指数は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。なお、Citigroup Index LLCは、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。</p>

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

ファンドの特色

1. 日本を含む世界の公社債や株式にバランスよく投資を行い、ファミリーファンド方式で運用を行います。
2. 資産ごとの運用では、各インデックスに連動する投資成果を目指します。

資産	インデックス
国内株式	TOPIX(東証株価指数)
国内債券	NOMURA-BPI総合
外国株式	MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)
外国債券	シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

3. 3つのファンドごとに、期待リターンとリスクのバランスを勘案し、基準となるアセットミックスを設定します。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。従って、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様に帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

【株価変動リスク】

株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

【金利変動リスク】

債券の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。また、発行者の財務状況の変化等及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

お申込みメモ

- 購入単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 … 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に追加設定時信託財産留保額を加えた価額(販売基準価額)とします。(基準価額及び販売基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 … 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から解約時信託財産留保額を差し引いた価額とします。
- 換金代金 … 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間 … 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 換金制限 … ファンドの規模及び商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間及び金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金申込受付の中止及び取消し … 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及びすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
- 信託期間 … 無期限(2000年5月30日設定)
- 繰上償還 … 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
・受益権の口数が5億口を下回るようになった場合
・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日 … 毎年5月29日(休業日の場合は翌営業日)です。
- 収益分配 … 年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。「分配金再投資コース」専用ファンドです。
- 課税関係 … 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。
なお、「マイセレクション25」については配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。「マイセレクション50」及び「マイセレクション75」については、配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。
- スイッチング … 「マイセレクション」を構成する各ファンド間でスイッチングができます。
スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。
(販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。)

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の翌営業日の販売基準価額に**1.08%(税抜1.0%)を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額

・購入時「追加設定時信託財産留保額」

購入申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.05%**の率を乗じて得た額を、購入時にご負担いただきます。

・換金時「解約時信託財産留保額」

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.05%**の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

マイセレクション25 **年率0.5724%(税抜0.53%)**

マイセレクション50 **年率0.6588%(税抜0.61%)**

マイセレクション75 **年率0.7452%(税抜0.69%)**

■ その他の費用・手数料

監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用等をその都度(監査費用は日々)、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

マイセレクション25 / 50 / 75

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2000年5月30日

作成基準日 : 2017年3月31日

委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
 加入協会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 ホームページ : 【PCサイト】<http://www.smtam.jp/>
 【モバイルサイト】<http://m.smtam.jp/>
 フリーダイヤル : 0120-668001 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社 (ファンドの財産の保管及び管理を行う者)

販売会社

商号等	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
三井住友信託銀行株式会社 ※	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※ 2012年4月2日以降、新規の買付けを停止しており、換金のための受付となります。
 (ただし、累積投資コースの分配金再投資は引き続き行われます。)

- ・お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・販売会社は今後変更となる場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。